

別表第3 品質検査基準

工 種		検 査 内 容	検 査 の 対 象
1 コン クリ ート	コンクリート構造物	コンクリート (無筋) (鉄筋)	1. 表面強度測定 テストハンマーによるコンクリート強度推定 要領  2. 圧縮強度試験 (摘要参照)
2 道 路 工	路体盛土 路床盛土	締固め密度	砂置換法による土の密度試験
	下層路盤	同上	同上
	上層路盤	同上	同上

規 格 値	摘 要
1. シュミットハンマーの値が $\sigma_{28}$ で設計値以上 2. $\sigma_{28}$ で $X \geq \text{設計値} \times 0.85$ かつ $\sigma_{28} X_3 \geq \text{設計値}$	原則として圧縮強度試験は施工管理記録によるが判定困難な場合は抜石又はコア抜取圧縮試験等を行う。
特記仕様書に土質試験の方法を明記したものによる。  1. 乾燥密度で規定する場合 路体 JIS A 1210 の試験で最大乾燥密度に対する締固め度は、 A・B方法 90%以上  路床 JIS A 1210 の試験で最大乾燥密度に対する締固め度は、 A・B方法 I-1 交通 90%以上 I-2 交通以上 95%以上	原則として施工管理記録による。
最大乾燥密度の 93%以上とする。 歩道等は規格値の 95%以上とする。	同上
最大乾燥密度の 93%以上とする。 歩道等は規格値の 95%以上とする。	同上

工 種		検 査 内 容	検 査 の 対 象
3 ア ス フ ア ル ト 舗 装 工 ( 表 層 )	舗設現場	密 度 試 験	1 工事につき 3 個
		アスファルト 抽出粒度分析試験	同 上
4 管 水 路 ( 埋 設 圧 力 管 )	埋設現場	漏 水 量 検 査	測定可能区間
<p>(説明) (参考) 規格値・・・(参考) 規格値は原則として管理基準値の 1.5 倍としてあり、この管理基準のもとに施工管理された出来形は (参考) 規格値の上下限を超えることは通常あり得ない。</p>			

規 格 値	摘 要
基準密度の 94% 以上（表層、基層） 93% 以上（瀝青安定処理） 歩道の場合は、規格値の 95% 以上とする。	現場採取コアを工事施工に直接間接的に関係のない第三者の試験室において試験を行うこと。
アスファルト量は±0.9% 粒度は2.36mm ふるい±12%及び75μm ふるい±5%。 印字記録による場合は、舗装施工便覧表10.5.1による。	同 上
ヒューム管・・・管内容積×5%以内／日  VP又は鋼管・・・管内容積×2%以内／日	実測又は施工管理記録による。左記の規格値内であっても部分的に集中して漏水する場合は除く。